

Minuma Shun Sai

# 見沼・旬彩

2021年春号 vol.17

## 見沼田んぼ桜回廊サポーター

見沼代用水の西縁・東縁及び見沼通船堀に連なる桜回廊。この桜回廊を維持し、さらに素敵な桜回廊とするため「見沼田んぼ桜回廊サポーター制度」を創設しました。

見沼田んぼ桜回廊サポーターの主な活動は、日常的な散歩の中で、桜回廊を見守る活動です。一つの例として、桜が咲き始めたことや、桜の素敵な写真が撮れた等を発信。桜の枝が折れていた、桜に見たことのない虫がついていた等を市に報告。この制度は、20km以上ある桜回廊を維持していくためには、多くの見守る目が必要だと考えたのが始まりです。

この素晴らしい桜回廊を多くの人に知ってもらい、見沼田んぼの桜回廊はさいたま市の誇れる地域資源だと認識してもらいたいと思い、制度を開始しました。

多くの方にサポーターになっていただき、見沼田んぼの桜回廊ファン、更には見沼田んぼファンが増えることを願います。

さいたま市 見沼田圃政策推進室



## 春の筍ご飯

筍が美味しい季節になりました。筍ご飯には、食感が良く食べやすい千切りをお薦めします。我が家の90歳過ぎの母から孫までが、大好きになりました。





## NPO法人見沼ファーム21“見沼たんぼの水田保全活動”

公有地水田・8カ所約2.3ha 農家からの受委託水田・約4.2ha



見沼たんぼの原風景・斜面林に囲まれた水田が一面に広がる美しい景観が見られた加田屋新田の公有地で県から受託した「見沼たんぼの米づくり体験活動」を1999年スタート、今年で24年目を迎えました。毎年子育て世代を中心に幅広い世代が田植えから稲刈りまで500人余の参加者が集い、見沼たんぼの自然と米づくりを楽しんで頂く貴重な機会になっています。子ども達には特に田んぼの生き物たちとの触れ合いも大きな楽しみで、環境教育の生の実践の場となっています。収穫した米は参加者にプレゼントする他、福祉団体や教育関係、地域活動団体などに寄付をしています。

今この加田屋新田でも水田が年々盛土され、畑や休耕地が増えて、かつての水田景観が失われていくという不安を抱えています。稲作農家の減少を止めることは難しい、ではどうすれば水田を今後も維持、残していくことが出来るのか、当会の活動をも活かしながら市民の皆さんに積極的な協力を期待して、市にも働きかけていきたいと考えています。

見沼のお店紹介!

### トラットリア イル・ルオーゴ



▲柳澤啓之シェフ

▲のれんが目印!

▶ランチのバスタメニュー (この週は生桜エビと新玉ねぎのペロンチーノ、蒸し鶏と芽キャベツのトマトソース、写真はベーコンとアスパラガスのカルボナーラ、スープ・サラダ付1,050円)



さいたま新都心駅から徒歩10分ほど、住宅街の一角にある静かなイタリアン。昭和の家を改装したというエントランスはレトロな雰囲気、大きなのれんが目印です。

白い壁と木の色のシンプルな店内は、ほど良い広さで落ち着いた雰囲気。ランチタイムは季節の素材を生かした週替わりの3種類のバスタや定番のボロネーゼなど、ディナーはコースの他、豊富なアラカルトメニューから選べます。デザートはケーキに至るまですべてシェフの手作りで、ここならではの味を楽しめます。

「イル・ルオーゴ」とはイタリア語で「居場所」のこと。地域の「居場所」でありたいという思いが込められています。このコロナの時節柄、今は皆で一緒にいることが出来たけれど、親しい人とはほんの数人で、あるいはふらりと一人で息抜きに訪れるにもいいお店です。新都心から見沼代用水西縁に向かう途中にあり、散策の折の休みにもお勧めです。テイクアウトメニューもあります。

大宮区北袋町1-285 TEL.048-627-9967

営業時間:11:30 ~ 15:00、18:00 ~ 22:00

定休日:水曜、年末年始 <https://il-lugo.net/about>

## 花と緑の祭典(春の園芸まつり)

新型コロナウイルスの影響により、中止をする場合があります。詳細は、市のホームページでご確認ください。

●日時:5月3日(月・祝)~4日(火・祝)、3日 9:00~16:00、4日 9:00~15:00 ※雨天決行、一部中止

●会場:市民の森・見沼グリーンセンター(さいたま市北区見沼2-94)

●JR宇都宮線 土呂駅より徒歩約8分または東武アーバンパークライン大和田駅より徒歩約15分

花と緑の祭典は5月の連休中に開催される、さいたま市主催の植栽、即ち草花類、植木類、苗類、農産物等を即売する楽しいイベントです。農業や園芸の振興並びに緑化啓発、世界文化等への理解促進や友好親善を図ることを目的に「春の園芸まつり」「シビックグリーンさいたま」「国際友好フェア」の3つのイベントが共同開催されます。

「春の園芸まつり」では野菜などの農産物・植木・花卉・苗などの即売、盆栽・洋蘭などの展示と即売、「シビックグリーンさいたま」は緑化推進のPR活動のほか、花いっぱいコンクール、「国際友好フェア」は外国文化の紹介をはじめ、多様な民族料理・民族品の展示・販売や民族舞踊・音楽の演奏などが催されます。



▲国際友好フェア



▲春の園芸まつり

見沼のお店紹介!

### 魔女のコッペンパ

「魔女のコッペンパ」の店を引き継いだ二代目店長・菅原宏美さんが店名を変更した「魔女のコッペンパ」。「コッペンパ」とは「美味しいおまじない」。「魔女は私」と菅原さんの言葉通り美味しい30種類のパンが毎日焼かれています。美味しい匂いといろいろな形のパンが並んだ店内には常にお客が入り替わり、無人になる時が無い程。

粉は埼玉県産小麦とハナマテン、有機ショートニング、塩は伊豆大島産・海の精、砂糖は洗双糖等、材料へのこだわりと作る工程も丁寧で、パンが美味しいのはなるほどです。人気のコッペンパンにはジャムだけでなくハンバーガーや野菜等、手作り自慢の具材がサンドされた品が数々。取材日のお勧めは「蒸し鶏のレモンバジル」。ただ数に限りあり、ほしい人は早めの来店がお勧めです。

素敵なお人形の「魔女」が招くオープンテラスにはテーブルと椅子が置かれていてイートインが可能、ランチも頂けます。

週毎日替わりランチ:いろいろなパンを中心にサラダ付き950円。コーヒー 380円。

見沼区南中丸316 第二産業道路沿いヤマダ電機の裏。

TEL.048-685-3013

営業時間:10:00 ~ 18:00 定休日:月、木曜日

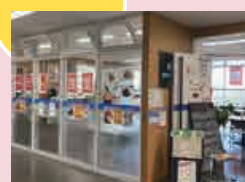


▲菅原宏美さん



見沼のお店紹介!

### 見沼区役所3Fのボナペティ食堂



▲店外観



▲ランチしながらサッカー見学も

◀各種弁当

見沼区役所のエレベーターで3Fに上がると、誰でも利用できるボナペティ食堂があります。入口には日替り、週替りランチの他、パスタ、オムライス、カレーランチにおにぎり、唐揚げ、トーストなど区役所ならではの豊富なメニュー内容です。中でも人気はビーフハンバーグ。大宮一番街のビストロボナペティや岩槻インター入口のボナペティピコの姉妹店だけに逸品です。地元見沼区の農家から仕入れたサニーレタス、赤いじゃがいも、ブロッコリー他野菜がお皿の彩りに生きています。ランチには+100円でドリンク付き、区役所を訪れる幅広い年代が利用していますが、特に女性層に人気です。

明る窓からは眼下にサッカー場が拡がり、食事をしながら若者たちの歓声が聞こえる時もあります。ランチ以外にも朝10:00から16:00まで、ドリンク類やケーキセットも用意されています。さらに弁当類のテイクアウトや配達(電話予約で近隣エリア)もしています。

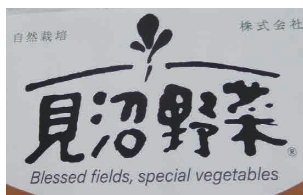
見沼区役所3階(堀崎町12-36) TEL.048-681-6147

営業時間:10:00 ~ 16:00 定休日:土、日、祝日

区役所1階の玄関では毎月最終水曜11:00 ~ 13:00に地産地消市「みぬマルシェ」が開催されています。



## (株)こばやし農園



▲小林弘治さん

◀登録商標した見沼野菜のロゴマーク

肥料、農薬を一切使わない自然栽培で野菜を作っている小林弘治さんは見沼たんぼは「奇跡の土地」と。縄文時代は海の底、その後湿地帯を経て、江戸時代新田開発された、その地下にはマコモダケなど水草の有機物が分解されず堆積されて肥沃な土壌になっています。また地下1mも掘れば水が

出てくるため夏場でも水に困ることはない。こんな見沼たんぼの独特で優れた土壌を活かして野菜を栽培。四季折々の旬の「奇跡」の野菜を年間50～60種、そのおいしさにリピーター続出。小松菜、春菊、キャベツ、かぶ、大根、人参…。

鎌倉の野菜が「鎌倉野菜」と呼ばれているように、見沼の野菜も「見沼野菜」として見沼たんぼのPRにも役立ってくれば、と商標登録したそうです。

また、さいたま市で2例目のS-GAP認証を取得しています。(S-GAPとは埼玉県が認証するGAP:農産物の安全、環境保全、労働安全などを確保する生産工程への評価)

脱サラから7年、県就農予備校や自然農法の農家で研修を受け、現在は見沼たんぼ内の8ヵ所計1.4haの畑で8人のパートさんと営農し、更に県農林振興センターの協力で見沼たんぼの特質を調査し、データ分析して適地適作を進めていきたいと考えているそうです。

～みんながつくる みんなの農園～見沼野菜ブランドの生産・販売する仲間も募集中です。

見沼区片柳1-127 片柳「萬年寺」の裏。建屋はビニールハウス。TEL.090-2470-2091  
HP:https://kobayashinouen.net  
販売:こばやし農園 土、日曜日 10:00～12:00  
オンラインショップ:https://kobayashi.xsrv.jp/shop  
「魔女のコッペンバ」等でも季節の野菜を数種販売。

## 大崎直売センター

さいたま市緑区の大崎公園内のヘルシーランド西側道路に面したところに、母体団体の大崎園芸生産組合が運営する大崎直売センターがあります。伊藤憲夫組合長をはじめ12名ほどの会員で同センターは運営されており、主に新鮮な野菜・植木・花・小盆栽などが販売されています。

同センター周辺は、公園内の子供動物園・森の冒険塾・園芸博物館、ヘルシーランド、農業者トレーニングセンター、くらしの博物館(民家園)、そして見沼たんぼ見沼代用水・桜回廊など自然と文化が融合した一大文化圏となっています。コロナ禍の春ですが、ご家族で散策がてら訪れてみてはいかがでしょうか。

緑区大崎322-1 TEL.048-878-4350  
営業日:土、日曜日 9:00～13:00



▲会員の原沢義夫さん(左)と小林茂さん



## 上山口新田の米づくり・水田応援活動



上山口新田の米づくり・水田応援活動も4年目です。2021年も当地の水田の風致、環境・景観保全に向け、ご協力をお願いします。

2020年はコロナ禍に巻き込まれ、当会でも会員の作業参加を制限させて頂きました。今年も応援活動参加への制限が想定されますが、引き続いての応援よろしくをお願いします。

ところで「機械耕作」を担っていただいている農業委員の小山吉男氏のお話では「上山口新田で大規模に水田耕作をされていた方がご病気で水田耕作が不可能になり、この水田の維持が課題と

なってきた」とのことでした。このような状況からまだまだ応援活動の継続が必要です。

応援活動の内容は①1口5,000円で10kgの玄米が贈呈されます。②田植等の補助農作業に参加できます。③作業にかかわる以下の準備は各人をお願いします。田植長靴、長袖、マスク、帽子、雨具、軍手、飲料等④応援会員応募の方は以下要領をお願いします。

teru-nishino@nifty.com TEL.080-1203-1021

上山口新田の米づくりを応援する会 西野宛

下記の事項を記入の上、ご連絡ください。

●氏名●住所●アドレス●携帯●農作業参加の有無

## 見沼のお店紹介!

### いきぬきカフェテリア ぶんぶんベーカリー

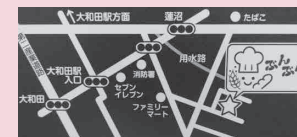
火～金曜日は7:30、土日祝日は10:00に開店。人気の手作り食パンは平日9:30、土日祝日は11:00が焼きたての目安です。コッペパンもあんバター、クリーム、きんぴら他20種余とバラエティに富み、サンドしたレタス等の野菜は見沼産です。他にチーズケーキやクッキーも人気で、店内にはカフェも併設され、手作りローストビーフサラダ、ピザ、パスタ、オムライス、デザートと品数豊富です。

住宅街にあり少し判りづらく、ナビ検索すると大谷小と大谷中の中間位の場所です。朝でも昼下がりにも息抜きにいかがでしょうか。なお朝早くから作るパンは、昼過ぎに売切れの場合もありご注意ください。

見沼区蓮沼1571-11 TEL.048-708-2982  
営業日時:火～金 7:30～(パン完売でクローズ)  
土日祝日10:00～夕方は予約  
モーニング7:30～10:30  
ランチメニュー 11:30～14:00 定休日:月、第4日曜日



▲店外観



▲ピザ



▲モーニングセット



店内▶





リウキンカ

## 山野草に魅せられて、高橋よしさん

高橋よしさんは、見沼たんぼの自然を愛でるお一人。大崎公園(緑区大崎)に隣接する大崎園芸植物園の山野草同好会(会長:今村安良さん)に所属し山野草作りを学び38年、毎年5月に実施されるアグリフェスタの山野草展に出品、また自宅で育てた山野草や花卉を総持院門前の「みどり販売所」や自宅で販売するなど、コロナ禍の日常を模索する私たち以上に充実した日々を過ごされています。

自宅の庭は、やっと芽吹き始めた山野草などの小鉢で一杯。そうした中でリウキンカ・アズマイチゲ・クリスマスローズなどが、かわいらしい花をつけ始めています。

春の深まりと共に品揃えも充実しています。見沼代用水東縁を散策の折はお立ち寄りください。

緑区大崎2562-8 TEL.048-878-1472(要電話)



▲高橋よしさん(85歳)

▲山野草展出品準備



▲クリスマスローズ



▲アズマイチゲ

## 人と環境にやさしい農業の講演会

### 「見沼グリーンセンターとスマート農業」について

期日:2021年6月3日(木) 15:30~17:00/場所:七里公民館 大会議室

講師:さいたま市見沼グリーンセンター所長 都築 輝彦氏

問合せ・申込先:黒澤 kurosawa@peach.ocn.ne.jp

さいたま市見沼グリーンセンターは、見沼たんぼの北部に位置し、敷地の東側を芝川に、西側を見沼代用水西縁に隣接した、面積約14万平方メートルの緑豊かな施設です。

さいたま市で初めて農業の世界的な認証規格でありますG-GAPを取得等、最新の農場技術を用いて、赤・黄・オレンジと色鮮やかなパプリカを水耕栽培で試験栽培中です。また、野菜や果樹は食の安全や環境への配慮、調査のために栽培しています。ス

▶温室でサラダホウレン草を水耕栽培で試験栽培中です。



スマート農業への苦労・努力、今後の展開について講演をします。

- ・農業技術改善のための実験及び試作に関すること
- ・優良品種の導入、増殖及び普及に関すること
- ・農業改良及び生活改善の指導に関すること
- ・農業生産団体の育成及び指導に関すること等

## Information

### 「日本一の桜回廊」を地域の活力源に 「日本一」をめぐるテレビ討論

2019年6月1日、TBSテレビで、「日本一の桜並木はどこか」というバラエティ番組が放送されました。出演地域は、2019年3月で総延長21.25kmとなり、日本一の桜回廊を名乗り始めた、さいたま市の見沼たんぼと「世界一の桜並木」を名乗る青森県の弘前市(旧岩木町)そして、「最も長い31km桜の並木」を主張する岐阜県のかかみがはら市の3地域です。

#### 「弱点」を持つライバル2地域の桜並木

筆者が現地を見てきての感想では、「世界一の桜並木」を主張する旧岩木町の桜並木は、岩木山のふもとを登る県道の路側帯に植樹されており、標高差が300mあるため、一番下の桜が「満開」の時に、中間地点では「2分咲き」、高いところでは、「雪」の並木でした。

各務原市の桜並木は、市町村合併のシンボル事業として計画されたため、一番山奥の谷川沿いの地区では、何キロも桜のない山林が続き、「31kmの最も長い桜並木」を主張するには、「看板に偽りあり」の状況でした。

#### 地域の住民が育ててきた見沼地域の桜回廊

ライバル2地域の桜並木は、いずれも「市町村合



併のシンボル事業」として、首長主導で計画された桜並木です。しかし見沼地域の桜は、江戸期からの桜と考えられる加田屋新田地区の「坂東桜」の伝統を復活させた「平成桜」や、昭和初期に地域の青年会により植樹された大宮堀之内地区の「見沼の桜」などの地域住民主体で桜を育て、その伝統を引き継いできたものです。

#### 見沼たんぼの魅力のひとつとして

見沼たんぼの桜の「長所」は、ほぼ同時期に、見沼代用水の水辺に咲く20km超の「素敵な桜の回廊」です。桜の樹齢もその多くが30年~90年と、頭上を覆うような満開の桜の下を歩ける素敵な花の回廊となってきました。ちなみに「日本一の桜回廊」は「世界一の桜回廊」でもあります。世界中からのお客様が訪れる「世界一の桜回廊」へと大切に見守り育てていきたいと願っています。

見沼たんぼ地域ガイドクラブ

MINUMA

New Face

## 新人農業生産者「就農3年目の野菜栽培農家 中野裕貴農園」のご紹介

父母が会社員、祖父母が植木の生産を行う農家に生まれました。大学卒業後、埼玉県農業大学校を卒業し、2018年から自身で野菜作りを開始します。主な生産品目は、ネギ(長ネギ、タツマサリ)、里芋(ドダレ)、ブロッコリー(ウィンタードーム)、ナス(マリーゴールド、オオナガス)等の露地野菜、伝統野菜のクワイです。出荷先は三室・木崎・与野ぐりめ米ランドです。減農薬を主体に栽培し、将来は収量アップ、品質の向上、規模拡大を図れればと考えています。また、地域貢献としてさいたま市4Hクラブに所属し地域の農業イベントや野菜の販売、収穫体験(さつま芋・紅ハルカ、シルクスイート)を行っています。

就農地区:見沼区藤子



▲園主の中野裕貴さん



▲長ネギ

